

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	②首里城公園の管理体制の強化と首里杜地区の歴史まちづくりの推進
			施策の小項目名	○歴史文化遺産の計画的な整備や歴史・文化を体験できる行催事等の推進
主な取組	首里城公園の観光資源としての活用		対応する成果指標	首里城公園来場者数
施策の方向	・ 県営公園内の中城御殿跡や円覚寺跡等の歴史文化遺産の計画的な整備や、歴史・文化を体験できる行催事等を推進し、首里城公園の魅力の向上を図るとともに、御茶屋御殿等の地域に点在する文化資源の段階的な整備について、事業主体や保存に係る調査等の課題解決に向けて、那覇市、国と連携して実現可能な方策や観光資源としての利活用の検討に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
首里城公園に関するイベント等の後援及び観光情報サイト等での掲載を通して、首里城公園の観光資源としての活用を促す。	国,県,那覇市,指定管理者,民間事業者等	首里城公園に関するイベント等の後援及び観光情報サイト等での掲載		
		イベント等後援の実施		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課 【 098-866-2764 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

(単位：千円)

予算事業名				-			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額				
—	—						
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
首里城公園に関するイベント等の後援及び観光情報サイト等での掲載を通して、首里城公園の観光資源としての活用を促した。				首里城公園に関するイベント等の後援及び観光情報サイト等での掲載を通して、首里城公園の観光資源としての活用を促す。			

活動指標名	イベント等後援の実施		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	実施	実施	実施	100.0%	順調	令和5年10月29日～11月3日まで開催された「令和5年度 首里城復興祭」について後援を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

首里城公園に関するイベントについて1件以上の後援を行い、目標を達成した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○引き続き首里城に関するイベント等の後援を行い、首里城公園の観光資源としての活用を促す。	「沖縄県の観光振興を図る行催事の共催等に関する取扱要領」の基準を用い、沖縄の観光の振興に効果がある、かつ適当と認められるイベントに対し後援を行った。

- 2 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルスの収束及び首里城の復興を見据え、イベント等も開催しやすくなっている。	⑧ その他	引き続き首里城に関するイベント等の後援を行い、首里城公園の観光資源としての活用を促す。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	③首里城に関する文化財等の保護・復元・収集
			施策の小項目名	○被災した文化財等の修復・復元や琉球王朝時代の文化財等の所在調査
主な取組	琉球王国時代の文化財等の調査研究、史料収集		対応する成果指標	首里城関係文化財のW E B公開の累計アクセス件数
施策の方向	・ 関係機関と連携の下、被災した文化財の修復・復元や国内外に所在する琉球王朝時代の文化財等の所在調査に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
琉球王国時代の貴重な文化財は、譲渡や売買、また沖縄戦の戦利品として不法に持ち去られる等、国外に流出したものが多くある。様々な理由で流出した琉球王国関連文化財についてアメリカで調査・研究し、その成果を報告会等通じて発信することで琉球文化の価値を体系的に高めることを目指す。	県	県内外の文化財の調査研究及び王国文化の発信の取組		
		年間を通した情報収集の成果発表報告会等の開催回数(累計)		
		—	2回	2回(4回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)	
予算事業名	在外琉球王国文化財調査研究事業					予算事業名	在外琉球王国文化財調査研究事業
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額				
県単等	委託	100	4,711				
令和5年度活動内容						令和6年度活動計画	
様々な理由で流出した琉球王国関連文化財についてアメリカで調査を行った。この調査結果をまとめ、県民向けの調査報告会を実施した。						様々な理由で流出した琉球王国関連文化財についてアメリカで調査を行う。この調査結果をまとめ、県民向けの調査報告会を実施する。	

活動指標名	年間を通した情報収集の成果発表報告会等の開催回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	2回	2回	100.0%	順調	9/24～10/3に渡米し、国務省等で情報収集するとともに、スミソニアン博物館にて琉球王国関係文化財50件を調査した。調査成果をまとめ、12/23の報告会で紹介し、3月末に論文として発表した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
アメリカのスミソニアン博物館で50件の文化財調査を行い、報告会を1回開催し、論文（博物館紀要）として1回発表を行った。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
新型コロナウイルスの感染状況及び海外渡航に係る情報収集の把握に努める。あわせて、調査予定の博物館等との連絡体制を維持し、調査体制の構築に万全を期す。	新型コロナウイルス等の感染状況を見極めたうえで、時期を調整して渡米した。また調査先の関係者と1年に渡る事前調整を行い、十分な準備をしたため充実した調査をすることができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	アメリカの博物館施設等は積極的な調査受け入れをしていない施設もある。琉球王国関係文化財の現状や、本事業について理解を促しながら、調査体制を構築する必要がある。	② 連携の強化・改善	調査先について情報収集しながら、事前の連絡や調整を丁寧に行い、事業について理解を促すとともに、十分な調査ができる体制を構築する。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	円安の影響で、旅費や現地コーディネーターの費用などが高騰する可能性がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	円安が進む可能性も考慮して、できるだけ早めに渡航の準備や、航空券手配等を行い、経費削減に努める。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	④首里城に関連する伝統技術の活用と継承
			施策の小項目名	○最新デジタル技術等を活用した伝統技術の継承
主な取組	戦災等により失われた琉球王国時代の文化遺産の復元		対応する成果指標	工芸技術研修（漆芸・木工）累計修了者数
施策の方向	・ 琉球王朝時代から伝承された伝統技術について、最新デジタル技術等を活用した伝統技術の継承に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
琉球王国時代の文化遺産等から得られる学術的知見や科学分析等の情報を集積し、王国時代の手わざを現代の最高水準の手わざで復元する。また、模造復元を通して世界に誇る沖縄の手わざの力を内外へ発信し、琉球王国文化の体系化を図るとともに、文化観光・研究拠点としての沖縄をアピールする。	県	復元製作基本設計		試作品製作
		復元製作に関する取組の実施		
		復元製作に向けた調査研究等の監修者委員会の開催	復元製作に向けた調査研究等の監修者委員会の開催	試作品制作 15件
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	琉球王国文化遺産集積・再興事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
一括交付金 (ソフト)	委託	14, 802	18, 173	

令和5年度活動内容

9分野の監修者会議を実施し、より実現性の高い模造復元候補の絞り込み（35点）と具体的な発信方法を盛り込んだ実施設計書を作成した。

(単位：千円)

予算事業名	琉球王国文化遺産集積・再興事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	委託	76, 340	

令和6年度活動計画

9分野の監修者会議を実施し、35点の模造復元製作（科学分析、材料調達、試作等）とSNS等を用いながら得られた知見を発信する。

活動指標名	復元製作に関する取組の実施		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	18回	復元製作に向けた調査研究等の監修者委員会の開催（18回）	復元製作に向けた調査研究等の監修者委員会の開催	100. 0%	戦災等によって失われた琉球王国の文化遺産に係る模造復元品製作と発信業務の9分野の監修者会議を実施し、実施設計を作成した。	

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
平成27年度から令和3年度に取り組んだ65件の模造復元品製作と展覧会等の発信業務を受けて、令和4年度から令和13年度にかけて新たな模造復元品製作と発信業務に取り組むため、令和4年度に基本設計を作成した。令和5年度は8分野の模造復元品の製作と発信業務1分野（合計9分野）の監修者会議を18回開催し、有識者からの意見等を反映し、実施設計を作成した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○復元候補の中から、原材料や製作者の確保等を検討したうえで優先順位をつけ、より実現性が高い模造復元対象資料を絞り込む。 ○模造復元の製作工程等を広く紹介するための効果的な発信方法を検討する。	・基本設計で選定された179件の復元候補の中から、原材料や製作者の確保等を検討した結果、より実現性の高い35件の模造復元対象を選定した。 ・模造復元の製作工程等をより効果的に発信するため、ターゲットの洗い出しを行い世代別の発信方法を検討し実施設計書に盛り込んだ。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	模造復元に関して、昨今の社会情勢の変化による原材料の枯渇や高騰に留意した原材料の確保が必要である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	科学分析や試作等を行いながら、原材料の検討や確保、入手が難しい場合は代替材の使用等を監修委員の監修を受けながら検討する必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	模造復元の製作工程等を広く紹介するための発信方法を工夫する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	模造復元製作が始まるため、SNS等を用いた継続的な情報発信する必要がある。また、その運用方法について検討・工夫する必要がある。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○琉球文化を体感できる機会や新たな琉球芸能創作機会の創出等
主な取組	琉球歴史文化への理解を深め普遍的価値の再発見		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・首里城及びその周辺エリアにおいて、国立劇場おきなわ等の関係団体と連携し、組踊、空手や県内各地の伝統芸能の鑑賞など琉球文化を体感できる機会の創出や、芸術性・エンターテインメント性の高い新たな琉球芸能の創作機会の創出等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
琉球歴史文化への理解を深め普遍的価値の再発見	県,市町村,民間団体	歴史・文化関連事業及び催物の開催		
		歴史・文化関連事業及び催物件数(累計)		
		100件	110件(210件)	120件(330件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）						
(1) 取組の進捗状況						
(単位：千円)						
予算事業名				予算事業名		
琉球歴史文化の日周知啓発推進事業				琉球歴史文化芸術興隆事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	10,155	17,752	県単等	委託	82,425
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施した。				琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施する。		
活動指標名		歴史・文化関連事業及び催物件数（累計）		R5年度		進捗状況
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	
	—	105件	52件（157件）	110件（210件）	47.3%	大幅遅れ
活動概要						
市町村や関連団体とともに歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施した。						

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
市町村や関連団体の歴史文化関連事業の調査および琉球歴史文化の日事業としての連携の可否を確認する前に事業が終了しているものがあり、進捗に遅れがあった。市町村や関連団体とともに関連事業を実施することにより、県民の沖縄の歴史と文化への理解を深められた。また、故郷への誇りや愛着を感じられる地域社会の形成に取り組むとともに、新たな歴史と文化を県民自らの手で創造していくことを図ることができた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
○ 引き続き、市町村や関連団体と連携するとともに、情報発信を強化していく。	市町村および関係団体に対し、その特設サイトへの情報掲載や琉球歴史文化の日ロゴマークの使用が可能な事業の調査（琉球歴史文化の日事業として連携可能な事業の調査）を実施した。連携可能な事業については「琉球歴史文化の日」に関するイベント情報を載せた特設サイトを作成し掲載した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	市町村や関連団体の歴史文化関連事業の調査および琉球歴史文化の日事業としての連携の可否の調査をする前に事業が終了しているものがあったため、調査を早め実施する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	事業の調査時期を早めることにより実施件数を増やし、関連団体と連携するとともに、情報発信を強化していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○琉球文化を体感できる機会や新たな琉球芸能創作機会の創出等
主な取組	地域や島でのシンポジウムや座談会の開催		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・首里城及びその周辺エリアにおいて、国立劇場おきなわ等の関係団体と連携し、組踊、空手や県内各地の伝統芸能の鑑賞など琉球文化を体感できる機会の創出や、芸術性・エンターテインメント性の高い新たな琉球芸能の創作機会の創出等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
各地域の伝統行事・芸能等をテーマに文化講演(シンポジウム等)を開催する。	県	県内各地で受け継がれる伝統文化の情報収集・発信・提供		
		地域や離島でのシンポジウム・座談会の開催回数(累計)		
		3回	3回(6回)	3回(9回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

(単位：千円)

予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業				予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
		当初予算額						
県単等	委託	6,724	6,050		県単等	委託	6,075	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
地域の伝統行事や伝統芸能など、文化の継承をテーマとする座談会を開催した。					地域の伝統行事や伝統芸能など、文化の継承をテーマとする座談会を開催する。			

活動指標名	地域や離島でのシンポジウム・座談会の開催回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	3回	2回	1回（3回）	3回（6回）	33.3%	大幅遅れ	地域の伝統行事や伝統芸能など、文化の継承をテーマとする座談会を開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

地域における旧正月の伝統行事や伝統芸能を取り上げ、文化の継承をテーマに座談会を開催した。年々予算額が減額されていることや、コロナ禍の影響で出演者の調整に難航していることなどから、座談会の回数を減らしているが、youtubeを活用したweb配信を行うなど、内容の充実を図った。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 引き続き、各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとぅば」を絡めたシンポジウム・座談会等を開催する。	○ 各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとぅば」を絡めたシンポジウム・座談会等を開催した。 ○ コロナ禍でシンポジウムを座談会に変えて行い、Web発信することで遠方からもアクセスがあるなど、これまでとは違った方面にアピールすることができた。

様式 1（主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	各地域の特色・違いを再発見してもらい、愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとうば」を絡めたシンポジウム・座談会を開催する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き、各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとうば」を絡めたシンポジウム・座談会を開催する。また、予算額の確保に努める。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	社会・経済情勢等の変化を踏まえた情報発信のあり方を検討する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き、シンポジウム・座談会のWEB配信を行い、当日会場で見ることができない方にも閲覧できるようにするとともに、過去のアーカイブを蓄積するなど情報発信を強化する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○琉球文化を体感できる機会や新たな琉球芸能創作機会の創出等
主な取組	日本遺産普及啓発事業		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・首里城及びその周辺エリアにおいて、国立劇場おきなわ等の関係団体と連携し、組踊、空手や県内各地の伝統芸能の鑑賞など琉球文化を体感できる機会の創出や、芸術性・エンターテインメント性の高い新たな琉球芸能の創作機会の創出等に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信を行う。	県、市町村、関係団体等	県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信		
		Webサイトでの情報発信件数(累計)		
		12件	12件(24件)	12件(36件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

琉球文化日本遺産事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

負担

1,400

1,400

令和5年度活動内容

琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に
広く発信し、観光資源としての活用を促した。

予算事業名

琉球文化日本遺産事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

負担

1,400

令和6年度活動計画

琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に
広く発信し、観光資源としての活用を促す。

活動指標名

Webサイトでの情報発信件数（累
計）

R3年度

R4年度

R5年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

—

11件

10件（21件）

12件（24件）

83.3%

概ね順調

ホームページを活用し、琉球文化日本遺産ス
トーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信
し、観光資源としての活用を促した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ホームページを活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促すことにより、地域の活性化及び観光振興につ
ながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発
信していく。

琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信するため、構成団
体が主催のイベント等の情報発信を合わせて行った。

- 17 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	令和6年度に日本遺産認定継続の審査を控えており、引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく必要がある。	⑧ その他	引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等
主な取組	国立劇場おきなわの伝統芸能県外公演		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・ 伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等や琉球の美術工芸品等を保有する国内外の美術館での公開、最新技術を活用し制作した琉球文化のデジタルコンテンツの世界へ向けた発信に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
伝統芸能の県外公演の開催。	県,国立劇場おきなわ	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開催数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
一括交付金 （ソフト）	補助	4, 500	4, 056	
令和5年度活動内容				
福岡県、岡山県において組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信し、沖縄観光のPRを行った。				

(単位：千円)

予算事業名	琉球歴史文化芸術興隆事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	5, 640	
令和6年度活動計画			
京都府において組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信し、沖縄観光のPRにも努める。			

活動指標名	国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開催数 （累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	1公演	1公演	3公演（4公演）	1公演（2公演）	100.0%	順調	ワークショップ参加人数：71人。 公演鑑賞者：2,561人。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
公演前のワークショップや、組踊の歴史解説、楽器・小道具を紹介し、沖縄の伝統芸能に関心のある層へ効果的なアプローチが出来た。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
公演前のワークショップや伝統芸能を上演することで、文化資源のPRと沖縄への誘客促進、観光需要の回復を図る。	公演前のワークショップや伝統芸能を上演することで、国立劇場おきなわ及び沖縄の伝統芸能をPRすることができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県外において、伝統芸能の上演やワークショップを開催し沖縄文化体験の機会を増やすことで、沖縄観光の誘客を図る。	⑧ その他	ワークショップ含み、県外での上演を引き続き行う。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等
主な取組	伝統芸能の県外公演		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・ 伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等や琉球の美術工芸品等を保有する国内外の美術館での公開、最新技術を活用し制作した琉球文化のデジタルコンテンツの世界へ向けた発信に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化の発信力の強化、文化交流の拡大、芸術文化のさらなる振興、人材の育成を目的として、県外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による県外公演の開催数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	地域の文化芸術振興事業				予算事業名	地域の文化芸術振興事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	4,000	4,000		県単等	委託	8,000	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
令和5年度は、県外公演として長野県で琉球古典芸能の公演を1公演実施する予定である。					令和6年度は、県外公演を2公演予定している。			

活動指標名	文化芸術団体による県外公演の開催数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	0公演	1公演	1公演（2公演）	1公演（2公演）	100.0%	順調	令和5年度は、県外公演として長野県で琉球古典芸能の公演を1公演実施し、151名が参加した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度は、計画数県外講演1公演に対し活動実績が1公演となり、達成割合が100%となった。開催地を本県と交流推進協定を締結している長野県とすることで、長野県庁の後援のもと、幅広い広報協力が得られた。また、来場者に対しアンケート調査を実施し、回答者の半数以上が琉球芸能を初めて鑑賞するとのことであったが、9割程度の方から講演内容について高評価をいただいた。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
○ 事業の公募について、広報周知を強化し、応募団体数を増やす。 ○ 昨年度実績ベースの客席数200席を条件とし、大都市圏以外での開催も可能とする。 ○ 公演にあたってアンケート調査を実施し、事業の効果を分析する。	○ 広報周知を強化した結果、7団体からの応募があった。 ○ 仕様書にて客席数を200席以上とした。 ○ アンケート調査を実施し、回答者の9割程度から講演内容について高評価をいただいた。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県人会や琉舞道場の支部等も無い地方都市において、集客に苦慮した。	⑤ 情報発信等の強化・改善	公演周知の期間、周知の方法等広報の手段を強化し、集客につなげる。
		④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	開催地における各種イベントとのコラボ等開催方法を工夫することで、集客につなげる。
		④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	メディアを活用し、実際に会場に来場した観客以外へも沖縄文化芸能を発信する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等
主な取組	伝統芸能の海外公演		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・ 伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等や琉球の美術工芸品等を保有する国内外の美術館での公開、最新技術を活用し制作した琉球文化のデジタルコンテンツの世界へ向けた発信に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化の発信力強化、文化交流の拡大、芸術文化のさらなる振興、人材の育成等を目的として、海外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県	海外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による海外公演の開催数(累計)		
		—	1公演	1公演(2公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

地域の文化芸術振興事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

委託

0

14, 000

令和5年度活動内容

文化の発信力強化、文化交流の拡大、人材の育成等を目的として、海外で沖縄の芸能を発信する公演を1回開催し、県内の文化芸術団体を派遣する。

予算事業名

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

令和5年度活動内容

予算事業名

-

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

令和6年度活動計画

令和6年度は他事業に統合した。

予算事業名

琉球歴史文化芸術興隆事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

43, 573

令和6年度活動計画

海外において沖縄の文化芸能に係るイベントを開催する。

活動指標名

文化芸術団体による海外公演の開催数（累計）

R5年度

進捗状況

活動概要

実績値

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

0公演

0公演

2公演

1 公演

100. 0%

順調

令和5年度は海外公演としてワシントンDCで創作劇を2公演実施し、208名を集客した。

- 26 -

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度は、計画数県外講演1公演に対し活動実績が1公演となり、達成割合が100%となった。開催地を本県と交流推進協定を締結している長野県とすることで、長野県庁の後援のもと、幅広い広報協力が得られた。また、来場者に対しアンケート調査を実施し、回答者の半数以上が琉球芸能を初めて鑑賞するとのことであったが、9割程度の方から講演内容について高評価をいただいた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
○ 公演地域の選定要件や、公演規模、公演内容等を事業目的を踏まえて検討し、適切な時期に公募を開始する。 ○ 事業の公募について、広報周知の強化を行い、応募団体数を増やす。 ○ 公演にあたってアンケート調査を実施し、事業の効果を分析する。	○ 公募の開始時期、広報周知を強化した結果、5団体からの応募があった。 ○ アンケート調査を実施し、観客の年齢層、広報の方法等について分析することができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	急激な円安にともなう旅費の増加や現地スタッフの人件費の高騰等により予算が圧迫し、広報面で不十分となった。	⑤ 情報発信等の強化・改善	公演周知の期間、周知の方法等広報の手段を強化し、集客につなげる。
⑦ その他(改善余地の検証等)	琉球芸能の認知度が低い中で、集客に苦慮した。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	開催地における各種イベントとのコラボ等開催方法を工夫することで、集客につなげる。
		④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	メディアを活用し、実際に会場に来場した観客以外へも沖縄文化芸能を発信する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○文化資源を活用した新たなビジネスモデルの創出等
主な取組	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・異分野・異業種間の連携する仕組みを構築し、多様性・独自性を持つ本県の文化資源を活用した新たなビジネスモデルの創出やおきなわ工芸の杜を活用した商品開発、マーケティング、ブランド力向上等を推進し、沖縄の伝統工芸の魅力や価値向上に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立し、旅行商品造成プログラムモデルを構築した。	県	旅行商品造成プログラムモデルの構築		
		プログラムモデル構築件数(累計)		
		2件	2件(4件)	2件(6件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

27, 409

25, 340

令和5年度活動内容

沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立するため、文化コンテンツを含む旅行商品造成プログラムモデルを構築した。

予算事業名

文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

17, 160

令和6年度活動計画

沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立するため、文化コンテンツを含む旅行商品造成プログラムモデルを構築する。

活動指標名

プログラムモデル構築件数 (累計)

R3年度

R4年度

R5年度

実績値

0件

2件

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

順調

活動概要

旅行商品造成の他、説明会や、プロモーション活動を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄特有の文化資源を活用した旅行商品造成プログラムモデルを2件(マグネットコンテンツ公演を活用したツアー及び名護市内各所を巡る芸能文化体験ツアー)構築した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 旅行会社などの意見を取り入れながら、文化資源を観光コンテンツとして商品化する仕組み作りを引き続き行う。

有識者によるワーキンググループを開催し、助言やアドバイスを伺いながら旅行商品造成に取り組んだ。

- 29 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	旅行商品の造成に時間を要したことで、販売期間が短くなり販売に苦慮している。	⑧ その他	関係者の意見を取り入れながら、販売期間を加味した旅行商品造成に取り組む。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○文化資源を活用した新たなビジネスモデルの創出等
主な取組	文化資源を有効活用したビジネスモデルの創出や商品開発		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・異分野・異業種間の連携する仕組みを構築し、多様性・独自性を持つ本県の文化資源を活用した新たなビジネスモデルの創出やおきなわ工芸の杜を活用した商品開発、マーケティング、ブランド力向上等を推進し、沖縄の伝統工芸の魅力や価値向上に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化資源を有効活用したビジネスモデルの創出や商品開発を支援する。	県,民間団体	文化資源を活用した取組		
		文化資源を活用したビジネスモデル・商品件数(累計)		
		6件	10件(16件)	10件(26件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

34, 849

39, 920

令和5年度活動内容

琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を公募し、10件の取り組みに支援（補助）を行った。

予算事業名

琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

補助

37, 852

令和6年度活動計画

琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を公募し、支援（補助）を行う。

活動指標名

文化資源を活用したビジネスモデル・商品件数（累計）

R5年度

R3年度

R4年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

0件

6件

10件（16件）

10件（16件）

100.0%

順調

琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を公募し支援（補助）を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を支援することで、観光客が沖縄の歴史文化を体験できる機会を創出できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○ 引き続き講演会の開催や事業報告会の開催を行うことにより、本事業の認知度向上を図る。

講演会や事業者報告会の他、新聞やSNS広告等により認知度の向上を図った。

- 32 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	新たなコンテンツ制作に関する周知及び過去に作成されたコンテンツの認知度向上が課題。	⑧ その他	引き続き、講演会や事業者報告会の他、新聞やSNS広告等により認知度の向上を図る。